

千葉市から千葉県を元気に!!

# 小川としゆき 之 智 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会  
〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話 043(227)7411

## 2月県議会一般質問

### 急がれる防災。減災対策の強化

#### 都川の整備計画改定を

昨年4月の県議会選挙で千葉市若葉区から立候補し、見事トップ当選を果たした小川としゆき県議は、6月定例議会に引き続き、2月定例議会の一般質問に登壇し、地震対策や水害対策、千葉県の国際戦略に加え、県営住宅の老朽化対策等について、市民・県民の立場から執行部にたどりました。その他の質問も合わせて答弁及び要望について、その概要をお伝えします。

小川議員 元日に発生した能登半島地震では、多くの方々が未だ避難所生活を強いられ、多くの課題が浮き彫りになっている。先日、自民党青年局の有志で、熊本地震で最も被害が大きかった益城町を訪問したが、広域的な災害における県と市町村の連携は極めて重要と感じた。また避難所生活における



2月県議会一般質問に登壇した小川議員

### 戦略を明確化し 国際関係施策を推進せよ

小川議員 新型コロナウィルスが蔓延する以前は、多くの自治体において国際戦略を策定し、「外需の獲得」、「外需の呼び込み」、「人材育成」と、大きく3つの柱に分類して、推進されてきた。さらには、在留外国人の地域社会への参加を促進するといった多文化

二次災害を防ぐためにも、避難所の設備や機能強化は重要であると感じた。

わが自民党では、防災資器材の調達も平時も非常時でも分けることなく便利に活用できるフェーズフリーの考えを推進している。

そこで何う。避難所運営について、フェーズフリーの考え方を基にした資器材等の整備を進めていくべきと思うがどうか。防災危機管理部長 普段から使っているものを災害時にも活用することは、災害時に早急に避難者を受け入れる必要がある避難所の運営に有効であると考えます。

総合企画部長 本県は成田空港や千葉港を擁する点とともに、京葉臨海コンビナートなどの素材・エネルギー産業の拠点、豊かな自然環境、農林水産物、観光資源など、様々な強みを有しています。こうした強みを本県の発展に活かすため、県では、総合計画の下で、農林水産物や食品の輸出の促進、外国人観光客の誘客、県内企業の海外展開支援や外資系企業の誘致など、各部署が戦略性をもって国際関係施策を推進しているところです。

避難所は、主に学校などの公共施設が指定されており、平時から利用されている体育館や教室などの施設のほかに冷暖房や発電機などを、災害時には避難所運営に活用することとなります。県では、避難所運営の際に必要な資器材の整備に對して助成を行っており、今後も、市町村の避難環境の確保に向けた取組を支援してまいります。小川議員 また、今回の能登半島地震では、ペットを飼っている方が、避難所に一緒に行けないために、自宅避難や車中避難を余儀なくされ、支援が行き届いていない状況があると報告を受けた。避難所における飼い主とペットの同居について、県はどのように考えているのか。保健医療担当部長 避難所には、動物が苦手な方やアレルギーのある方もいるため、飼い主が他の避難者に遠慮して避難所の駐車場で車中泊をし、体調を崩す場合があることや、避難そのものをためらう、二次被害の発生の原因となる等の問題があります。県としては、引き続き、市町村に対して避難所の運営方法に関する好事例を紹介するなど、飼い主が災害時に安心して避難できる環境の整備について促してまいります。小川議員 災害は地震だけでなく、異常気象に伴う、台風や線状降水帯の発生による風水害が頻発しており、県内各地で浸水被害等が報告されている。私が住む若葉区においても、都川が溢水する被害が多く、大草交差点付近が冠水することから抜本的な対策を求めるところである。そこで何う。都川上流域の今後の浸水対策の進め方はどうか。県土整備部長 都川については、河川整備計画に基づき、水源橋から、祐左衛門橋までの約5.4キロメートル区間において、下流から河川改修を実施することとしており、現在は多目的遊水地の用地取得を進めているところです。多目的遊水地の上流端にある大宮橋から約2.3キロメートル上流の大草橋周辺では、近年、住宅への浸水被害がたびたび発生していることから、今年度、堆積土砂や支障物の撤去を実施いたしました。今後、大草橋付近において、河川監視カメラを設置や、千葉市の道路事業と連携した堤防かさ上げ工事に着手していく予定です。

総合企画部長 県内における国際化の取組の充実を図るためには、市町村の取組が欠かせないことから、施策の立案や相互連携に役立てていただくよう、市町村に調査結果を提供しています。今後さらに、市町村向けの説明会において好事例を紹介し取組を促すとともに、庁内各部署での施策の参考として共有を図るなど、県全体の国際化の取組がより一層進むように取り組んでまいります。小川議員 県は、県内中小企業の海外展開について、どのように支援しているのか。商工労働部長 県では、JETRO千葉貿易情報センターと連携し、海外の市場動向や各国の法制度・規制措置、海外展開に必要な契約実務等について、セミナーの開催や窓口相談、専門家派遣等による支援を行っております。また、国内で開催される国際的な食品見本市である「FOOD EX JAPAN」や、デュッセルドルフ市で開催される世界最大の医療機器展「MEDICA」に千葉県ブースを設置し、県内中小企業に出展機会の提供も行っているところがございます。

●千葉市と千葉県政に関するご要望をお寄せください。

議 小川としゆき 事務所  
〒264-0017 千葉市若葉区加曽利町1032-81  
TEL. 043-232-1435

ホームページもご覧ください ▶ <https://www.ogatoshi.com>

